



いい笑顔

有田市立宮原小学校 学校通信 (文責：教頭)

〒649-0434 有田市宮原町新町1番地 TEL0737-88-7117

令和6年12月10日 No.16

学校開放週間

和歌山県では、教育に対する関心や理解を深め、学校・家庭・地域が連携して教育の一層の充実と発展を図ることを目的に、11/11を「きのくに学びの日」、11月を「きのくに学び月間」と設定しました。

宮原小学校では、11/18～29を「学校開放週間」と位置づけて、保護者や地域の方々に学校を開放しました。授業中はもちろん、休憩時間や給食の時間も参観していただきました。



2週間で、延べ46人の保護者・ご家族・地域の方々にご来校いただきました。ご多用の中ありがとうございました。宮原小学校では「学校通信」「学年・学級だより」「宮原小ブログ」を通して子供たちの様子を発信していきます。今後ともよろしくお願いたします。

様々な出前授業

11/19 (火) JA 出前授業

JA ありだの職員と食農おうえん隊の方々にお願いいただき、2年生と一緒にスイートポテトを作りました。ゆでてつぶしたさつまいもに砂糖を入れ、形を整えてオーブンに入れました。「おいも嫌いやけど食べれた」「家でも作りたい」と大喜びでした。



11/19 (火) 革クラフト教室

自然・文化・産業への理解を深めることを目的に、3年生がクラフト教室を行いました。ジビエと革のお話を聞いた後、キーホルダーを作りました。皮をボンドで貼り合わせ、穴をあけてスタンプを押しました。世界に一つだけの素敵なキーホルダーができました。



11/28 (木) ヤクルト出前授業

ヤクルト本社から職員の方にお越しいたいただき、体の健康について授業をしていただきました。まず、ヤクルトを飲ませていただきました。体育朝集でマラソンをした子供たちは、のどを潤せて大満足。クイズに答えたり腸の模型に驚いたり、夢中になって聞いていました。「乳製品を飲むとお腹の中でどんな効果があるのか」「善玉菌と悪玉菌の違い」「野菜を食べて運動をすることが大切」など、たくさん教えていただきました。最後にヤクルトマンと写真を撮りました。楽しく学べた1時間でした。



人権週間の取組

12/4～10は、「第76回人権週間」です。昭和23年(1948年)国際連合総会において、全ての人民と全ての国が達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。法務省ではこの期間を「人権週間」と定め、全国的に人権啓発活動を強化して行っています。

11/26(火)人権集会

人権週間をきっかけに人権について考えてほしいと思い、人権集会を開きました。

めあては『人権と人権週間について知る』です。担当の先生が、「人権とは人として幸せに生きていくために必要な権利であること」「人権を大切にすることは、自分を大切にしながら相手を思いやる心をもつこと」と説明しました。子供たちは真剣な表情で聞いていました。

次に、絵本『ともだち』の読み聞かせをしました。友達と毎日明るく楽しく生活するには、どんな行動をすればよいか考えるよい機会になりました。



11/28(木)人権教室

有田市人権擁護委員会をお招きし、人権について考える授業を行いました。まず、DVD「プレゼント」を観ました。友達の誕生日プレゼントがきっかけでいじめが始まるという内容で、真剣な表情で観ていました。次に、内容を確認しながら、感想を交流しました。「いじめていた子がいじめられる側になって初めて、自分のしていたことのひどさに気づいていた」「いじめられるのが怖くていじめることもあるんだと思った」「黙って見ているのは、いじているのと一緒にだと初めて知った」など、一人一人真剣に考えることができました。人権を大切にできる人であってほしいと願っています。



11/29(金)情報モラル教室

4～6年生+保護者+職員を対象に、有田湯浅警察署の方々が情報モラル教室を開いてくださいました。「情報の取扱いに注意する」「相手に伝わる言葉を使う」など、大切なことをたくさん教えていただきました。ありがとうございました。



各学級の取組

1,3,5年生は絵本の読み聞かせを聞いた後話し合いました。2,4,6年生はSST(ソーシャルスキルトレーニング)をしました。

6年生は、SST『相手を傷つけずに自分の意見を言おう』に取り組みました。相手が傷つけない言い方や、友達と違う意見の伝え方を考え、グループで共有しました。

人権学習の振り返りを、廊下や踊り場に掲示しました。休憩時間に友達の感想を読んでいる姿を見かけ、嬉しい気持ちになりました。

